

オンタリオ州、中間報告書の発行と州構築計画の推進

オンタリオ州の 2022 年秋の経済声明で、 不確実な経済とグローバルなインフレの時代への対応策を表明

トロント市-本日、ピーター・バスレンファルビー財務大臣は、[2022 年度オンタリオ州の経済見通しと財政概況 - オンタリオ州構築計画 \(Ontario's Plan to Build\) : 中間報告書](#)を発表しました。それには、オンタリオ州構築計画における当政府初の中間報告の他、経済を構築する計画の推進、当州の労働力不足対策、および家庭や企業のコスト削減の援助を目的とした新たな重点措置が含まれています。

また政府は、オンタリオ州の経済および財政見通しに関して最新情報を発表し、世界が高度インフレーションと新たな経済問題に直面するなかで、当州の柔軟かつ責任ある計画が、不確実性とリスクへの対応策を確立する上で、どのような役割を担うかについても説明しています。

バスレンファルビー財務大臣は次のように述べています。「私たちは団結して、非常に多くのことを達成してきました。投資の誘致から、雇用の創出、何千人もの熟練労働者の養成、家庭のための費用抑制の支援にいたるまで、私たちは着実な進歩を遂げてきました。政府は不確実な経済の時代への対応策をしながら、家庭、高齢者、中小企業を援助する新たな重点措置を通して、州の構築計画を強化していく方針です」

政府の計画を推進する重点措置の主な内容は以下の通りです。

- 自発的なクリーンエネルギー税額控除レジストリの設立。これは、競争力を高め、雇用に創出し、提案する法案を通して企業の環境やサステナビリティの目標達成のために幅広い選択を提供することを目的としています。
- オンタリオ州の中小企業に対し、今後 3 年間で 1 億 8,500 万ドル分の税控除。中小企業税率の段階的廃止を延長する提案により、およそ 5,500 の中小企業がこの恩恵を受けます。
- 中小企業固定資産サブクラス制度を採用しているすべての自治体の中小企業に対し、同率の固有資産税引き下げを適用。
- 月間収入の税控除額を毎月 200 ドルから 1,000 ドルに引き上げることにより、ODSP を受給する障害者の手取り額が増加するよう改定。これにより、現在就業している 25,000 人の手取り額が増加し、さらに 25,000 人もの新規就労を促進することができます。
- 重度障害児補助金 (Assistance for Children with Severe Disabilities) プログラムの月額上限をインフレーションに合わせて 2023 年 7 月より毎年調整する予定。

低所得の障害者のために、上昇する生活費の管理を支援。オンタリオ州障害援助プログラム (Ontario Disability Support Program - ODSP) のもとで基本控除額をインフレーションに合わせて 2023 年 7 月より毎年調整する予定。

- 2022-2023 年度において技能開発基金 (Skills Development Fund) に 4,000 万ドルを追加投資。同基金の最新の資金調達回では合計で 1 億 4,500 万ドルを投資しており、これまで既に 393,000 人以上を援助し、需要のある産業においてキャリア向上の後押しをしてきました。
- 二重単位制度 (Dual Credit Program) を拡張するため、2023-2024 年度より 2 年間に 480 万ドルを追加投資。より多くの高校生が熟練技能者または幼児教育の道に進むことを奨励します。
- ガソリン税および燃料税率の引き下げの延長を提案。ガソリンと燃料（ディーゼル）税を 2023 年 12 月 31 日まで 1 リットルあたり 9 セントで維持します。
- Guaranteed Annual Income System（保証年間所得システム）の受給者全員への支給額を 2023 年 1 月から 12 ヶ月間倍増することにより、オンタリオ州の最低所得の高齢者約 20 万人に対する生活費の管理の支援を提案。2023 年に 1 人あたり最高でほぼ 1,000 ドルの増加になります。
- Ontario Production Services Tax Credit（オンタリオ州プロダクションサービス税額控除）の対象経費を拡張し、ロケ地使用代を含めるよう提案。当州における国産・外国映画およびテレビ番組の製作を誘致し、オンタリオ州各地域におけるロケーション撮影の奨励を目的としています。

ベスレンファルビー財務大臣は、次のように語っています。「現在私たちは高いインフレ率のさなかであり、生活物資やサービスの価格が上昇して家計を圧迫しています。しかし、私は、オンタリオ州の経済、労働者、そして人々の回復力を信じています。そして、未来に向けての構築を進める中、人々や企業に対し何を絞った援助が提供できるよう、財政的な柔軟性を維持するという政府の計画に自信を持っています」

当政府初のオンタリオ州構築に関する中間報告書 (Building Ontario Progress Report) の主な内容

- オンタリオ州の自動車関連の変革型投資に、世界の自動車メーカーならびに電気自動車のバッテリーおよびバッテリー素材の供給会社を誘致し、その投資額は過去 2 年間に 160 億ドルに達しました。
- 鉄鋼部門の変革を支援し、当州を低炭素鋼の生産で世界トップに導くために過去 1 年間で 25 億ドルの投資を誘致しました。
- 人件費の削減や電気料金の負担軽減などを通して、2022 年にはオンタリオ州の企業の経費削減と援助に推定 87 億ドルの支援を行い、そのうち 40 億ドルは中小企業が対象となっています。
- オンタリオ州初の重要鉱物戦略 (Critical Minerals Strategy) と、Ring of Fire 地域への全天候道路などの重要インフラストラクチャーを支える 10 億ドルに近い投資により、Ring of Fire 地域も含め、重要鉱物の経済的ポテンシャルを開発しています。
- 熟練労働の援助を引き続き行います。オンタリオ州では 2018～2020 年の間に、アプレントイスシップ（見習い）プログラムへの新規登録が 71,700 件以上あり、アプレントイスシップ証書 (Certificates of Apprenticeship) が 25,000 通以上、資格証書 (Certificates of Qualification) が 5,600 通発行されています。
- 2020 年以降、看護師および介護士を含め医療従事者が新たに 11,700 人以上加わった他、海外で教育を受けた看護師で政府出資のプログラムによって有資格の看護師になった人が 800 人以上います。
- 今後 10 年間にわたり高速道路の拡張と修復に約 251 億ドルを投じ、コミュニティを繋いで、渋滞を解消し、州全体に人や物が移動しやすいようにします。これには、Highway 413 と Bradford Bypass の建設、Highway 401 の拡張などが含まれます。

その他の重要事項

- 政府の制御が効かない様々な要素によって世界の経済状況が不確実な今、政府は今後数年間に経済に起こり得る「より速い成長」と「より遅い成長」のシナリオを作成し、異なるシナリオによるオンタリオ州の財政への影響についてより高い透明性を提供しています。
- 政府は現在継続中の不確実な経済と財政課題を考慮して、当州の構造的赤字を解消することを責務とし、オンタリオ州の財政のバランスを取り戻すよう一層の努力を払っています。
- 政府は、現在、2022-23年の赤字を129億ドルと推定しており、それは2022年度予算における見通しよりおよそ70億ドル低い額です。
- 中期的には、政府は2023-24年の赤字が81億ドルに減少、2024-25年では7億ドルに減少すると予想しています。2022-23年を含めると、これは2022年度予算と比較した場合、赤字見通しにおいて181億ドルの累積的改善があり、借入需要に261億ドルの累積的削減があることを意味します。

その他の資料

[2022年度オンタリオ州の経済見通しと財政概況 - オンタリオ州構築計画：中間報告書](#)

[背景解説記事：経済および財政概要を読む](#)

[オンタリオ州構築計画：中間報告書](#)

[政府によるコスト抑制の計画および政府の税金軽減実施時期について詳細を読む](#)

[2022年度予算を読む](#) [オンタリオ州構築計画](#)

メディア窓口

ontario.ca/finance-news

Disponible en français

Emily Hogeveen

大臣執務室

647-294-6166

Emily.Hogeveen@ontario.ca

Scott Blodgett

コミュニケーション部門

416-728-9791

Scott.Blodgett@ontario.ca